

拠点独自の環境配慮活動の紹介

原子力機構の拠点ではそれぞれの仕組みや手法に従い、独自に工夫した環境配慮活動を実践しています。

関西光科学研究所における環境配慮活動

関西光科学研究所の活動内容には、京都府地球温暖化対策条例に基づくノーマイカーデー等の省エネルギー活動、木津川市との環境保全協定書に基づく化学物質の安全管理、産業廃棄物の適切な処分、水質汚濁・騒音・振動・悪臭の管理状況を確認するための環境測定の実施、省資源活動及び廃棄物低減活動としての古紙リサイクルの推進、ゴミ分別の徹底、有価物の回収等があります。

環境に配慮した活動としては、年2回木津地区施設周辺美化運動として、事業所周辺の歩道や公園の清掃活動を実施しています。



ノーマイカーデーの出勤風景



施設周辺美化運動の様子

また、省エネルギー活動としては、電力使用量の6割を消費しているレーザー装置が設置されている大実験室空調機の運転方式の見直しを行い、実験装置を使用していない休日、夜間の換気風量を1/4に削減する運転方法に切替えるとともに、夏期休暇期間の平日昼間の低速運転の導入や、夜間・休日の低速運転の時間拡大を図り、研究活動に支障ないことを慎重に確認しながら、更なる節電対策を進めました。

さらに、照明のLED化及び人感センサーの導入を図ることにより従来の年間エネルギー消費量に対して約50%の節電効果を上げました。

他に、居室の冷暖房節約等の継続的な取組、科学館の天井部（ガラス）に電動カーテンと窓ガラスにブラインドの設置や職員等へのメールによる消費電力状況グラフを周知することにより省エネへの意識を高めるなどの活動に取り組み、2014年度は2010年度に比較して36%節減を達成しました。

これらの省エネ努力に対して、2014年度理事長表彰「改革特別賞」を受賞しました。



J-KAREN レーザー大実験室



居室照明のLED化



科学館ブラインドの設置

環境の整備（美しい環境づくり）

拠点等ごとに敷地内の環境の整備・美化に取り組んでいます。緑地の整備や、緑のカーテンによる夏の省エネへの取組、敷地内の森林の環境保全活動としての下草刈り作業の実施など、職場環境の向上に取り組んでいます。



「サイクル研の緑地」
正門前に緑地を整備しています。



「NEATの緑のカーテン」
夏の日差しを遮り、省エネに役立っています。



「人形の森林保全活動」
「とっとり共生の森事業」の一環として、植樹した樹木に施肥や水やりを行いました。